



創立151周年 9月号（令和6年8月27日発行）

kurosho-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

熱い 暑い 夏

校長 玉置 恭美

今年の夏休み最大の関心事は、パリオリンピックだったのではないのでしょうか。夜遅くまでテレビの前で熱く応援し、寝る時間が遅くなった人もいたのではないのでしょうか。神奈川県、川崎市、横浜市出身のアスリートの活躍は連日新聞にも掲載され、オリンピックを身近に感じました。

4年前のオリンピックにも出場した、横浜市緑区の小中学校卒業、110m ハードルの泉谷選手を応援していました。1秒にも満たないタイム差で決勝には出場できませんでしたが、前回のオリンピックから今年まで、どのような練習を重ね、自己ベストに向けた調整を続けてきたのかを思い、心から拍手を送りました。今年も、中学校の時の顧問の先生からお話を聞き、今でも、試合のたびに以前お世話になった顧問の先生方に連絡をとり、相談をしたり、夢を語ったりしているとのこと。指導者への感謝を忘れない泉谷選手のエピソードに、応援したい気持ちが強くなりました。

今年の夏は、連続猛暑日の記録が塗り替えられた地域もあったほど、毎日が暑かったです。そんななか、8月8日に日向灘を震源とする地震を受け、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、8月9日には神奈川県西部で震度5弱を記録する地震があり、線路や高速道路が一部で通行止めとなりました。お盆の時期には台風が3つも接近し、近隣のみたけ台中学校では避難所が開設されたそうです。日ごろからの災害への備えの大切さを感じました。

能登半島地震の際に停電が続き、避難所も暗い夜を過ごさねばならなかったことを受け、横浜市内で学校の夜間照明が停電時でも使用できるようにと、発電機でも発光可能な照明器具の設置が、鉄小学校でも行われました。災害はないことが一番ですが、備えは大切です。防災の日を前に、子どもたちと、災害時に命を守る行動についても考えていきます。

